

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 3 号 (5 月 11 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

地区総体 痛恨のPK負け

5月8日(土)、9日(日)地区総体が落合のスポーツセンターで行われました。山東は昨年度のYリーグ(山形県リーグ)1部で6位以内に入ったので、すでに県総体のシード枠が約束されており、9日からの決勝トーナメントから参加いたしました¹。初戦の準決勝!の相手はMリーグ(村山リーグ)の二つのリーグのうちの一つを、圧倒的強さで勝ち上がってきた山形商業。クラブチーム出身者が多く、技術が高い。昨年度のYリーグでは1勝1敗であり、昨年度からの伸びを計るには絶好の相手で、顧問も気合が入っていました。

序盤、立て続けにCKを与え冷や冷やさされるも、中盤での競り合いの厳しさと山東が優位に立っており、やや山東ペースの前半。特にボランチ市村がシンプルにボールをさばきつつ守備でも機能しており、敵のボランチ(確か県選抜の選手)に全く負けていない。右サイドから左アウトサイドハーフで先発した(はずの)直弘が右サイドからドリブルで仕掛け、ゴール前のFW松永にボールが渡る。敵を背負っている松永がバックパスを選択すれば、2人いた選手がゴール前でフリーでシュートを打てる展開に!しかし、そこはFWの本能か、松永は「自分で決める」とばかりに敵を背負いつつ右側にターンし左足でのシュートの態勢に入る。たまたま相手DFは松永を押してしまい、山東PK獲得。山東応援席は沸くも、まだ点が入っていない。チームを代表して、ある選手(誰かは「山形東サッカーOB会」のHPをご覧ください)がPKを蹴るも、狙いすぎたボールはゴールポストに嫌われる。前半は0対0。

後半は、警戒していた敵FWにドリブル突破され、右サイドを破られセンターリングを上げられたシーンで失点の危険を感じたくらいで、山形東優勢。ただ、ミドル3rdで優勢でも、ゴール前の強さがなければ勝てないという鉄則は、近年の日本代表を見ていれば明らか。右アウトサイドハーフ賢祐のゴール前どフリーのシュートもGK正面であれば決まるはずがない。結局得点を上げられず、PK合戦へ。5人全員きっちり決めた山商に対し、山東は1人外してしまい、0対0のPK合戦4-5で負け。

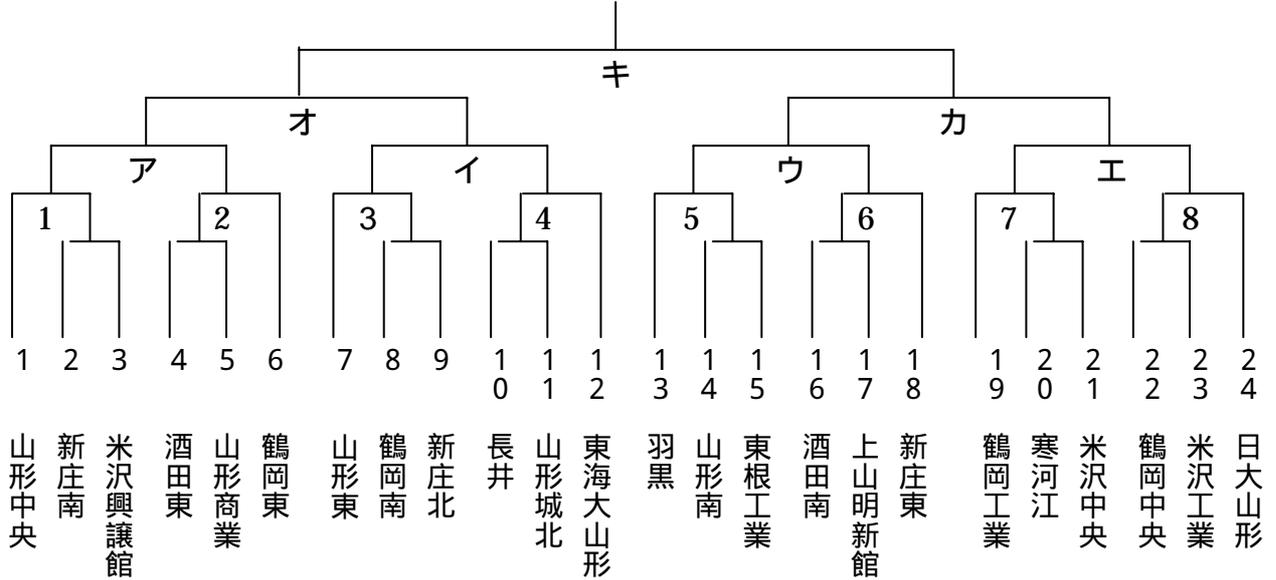
ヘディングがパスになっていた点、ボールをワンタッチで蹴ることを前提に選手が連動した動き出しをしていた点で、成長を感じましたが、点数を入れるゲームで零封されれば、負けて当然。地区総体の初戦で敗退するという非常に悔しい結果となりました。応援

¹ なぜ6位以内かということ、プリンスリーグ東北(東北リーグ)2009に山形中央と羽黒高校の2チームが参加しており、県総体のシード枠の8つはYリーグの6位以内に入りました。ちなみに山東は昨年のYリーグは日大山形、東海大山形に次ぐ3位でした(日大はその後、羽黒との入れ替え戦に勝利し、今年からプリンスリーグに参加することになりました)。

して下さった方々には大変申し訳ない結果となりましたが、重要なのは県総体での勝利です！！引き続き、応援よろしくお願いいいたします。

次戦：Yリーグ第3節 上山明新館高校戦 10:00 キックオフ @山形市陸上競技場

県総体 組み合わせ 決定！



月日	試合時間	第2運動 広場	ラグビー 場(天童)	山形商業	寒河江高 校	第3運動 広場
5月29日 (土)	13:00~14:20					
	15:00~16:20					
5月30日 (日)	11:00~12:20	1	4	2	7	
	13:00~14:20	8	5	3	6	
6月4日(金)	10:00~11:20	ア				
	12:00~13:20	エ				
	14:00~15:20	ウ				イ
6月5日(土)	11:00~12:20	オ				
	13:00~14:20	カ				
6月6日(日)	11:00~12:20	キ				

河川敷に又マシン再降臨

さる4月25日(日)、平成18年度まで8年間山東サッカー部顧問でいらっしゃった大沼晋先生(通称又マシン)が、楯岡高校サッカー部を率いて、河川敷グラウンドに現れました。現役生の皆さんや保護者の方々のご存じないかと思いますが、顧問今野にとって赴任年度の18年度とともに顧問をさせてもらった思い出深い方。このたび3年間の教育センター勤めを終え、楯岡高校に赴任し、もちろんすぐさまサッカー部顧問へ(大沼先生自体は山形東高校園芸部出身・・・現在園芸部は廃部となっています)。さっそく練習試合をさせてもらいました。大沼先生、今後とも山東サッカー部をよろしくお願ひします。